昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2024年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2024年（令和６年）
6月11日 火曜日
第1948号

京都自動車新聞

京ト協 石ト協に見舞金 2
指定工場での前照灯検査は従来通り 5
京自販 代表者会議を開催 6
ＫＣＡＡ京都とＪＵ京都 提携11周年 8
◀前原衆院議員 京整商向けに講義 7

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

府下の23年度検査台数

軽は過去最多18万2千台

4年連続の50万台超えを記録

京都府下の2023年4月から24年3月までの継続検査台数は、50万2068台と前年割れしつつも、4年連続で50万台を上回った。とりわけ人気車種で目立つ新車の供給遅延に伴う代替の先送りが、引き続き直接的に作用したとみられる。このうち、軽自動車は18万2256台と4年連続で過去最多を更新。総台数に占める軽自動車比率も過去最高の36・3％に及んだ。

種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録自動車	総検査台数(A)	25,436	26,797	16,487	28,046	25,692	29,878	29,115	26,473	24,510	22,048	30,411	34,919	319,812
	持込検査台数(B)	7,747	7,637	8,300	7,703	7,024	8,102	8,131	7,164	6,500	6,591	7,863	8,925	91,687
	ユーザー車検台数(C)	3,118	3,013	2,937	2,869	2,760	2,923	2,928	2,704	2,420	2,399	2,841	3,186	34,098
	ユーザー車検率(C/A)	12.3%	11.2%	17.8%	10.2%	10.7%	9.8%	10.1%	10.2%	9.9%	10.9%	9.3%	9.1%	10.7%
	〃 (C/B)	40.2%	39.5%	35.4%	37.2%	39.3%	36.1%	36.0%	37.7%	37.2%	36.4%	36.1%	35.7%	37.2%
軽自動車	総検査台数(A)	13,570	13,929	16,190	14,678	13,440	15,008	15,526	15,353	13,666	14,588	17,347	18,961	182,256
	持込検査台数(B)	4,081	3,938	4,478	4,103	3,620	4,038	4,079	4,092	3,412	3,902	4,372	4,740	48,855
	ユーザー車検台数(C)	1,442	1,358	1,504	1,388	1,198	1,316	1,342	1,361	1,139	1,284	1,459	1,430	16,221
	ユーザー車検率(C/A)	10.6%	9.7%	9.3%	9.5%	8.9%	8.8%	8.6%	8.9%	8.3%	8.8%	8.4%	7.5%	8.9%
	〃 (C/B)	35.3%	34.5%	33.6%	33.8%	33.1%	32.6%	32.9%	33.3%	33.4%	32.9%	33.4%	30.2%	33.2%
合計	総検査台数(A)	39,006	40,726	32,677	42,724	39,132	44,886	44,641	41,826	38,176	36,636	47,758	53,880	502,068
	持込検査台数(B)	11,828	11,575	12,778	11,806	10,644	12,140	12,210	11,256	9,912	10,493	12,235	13,665	140,542
	ユーザー車検台数(C)	4,560	4,371	4,441	4,257	3,958	4,239	4,270	4,065	3,559	3,683	4,300	4,616	50,319
	ユーザー車検率(C/A)	11.7%	10.7%	13.6%	10.0%	10.1%	9.4%	9.6%	9.7%	9.3%	10.1%	9.0%	8.6%	10.0%
	〃 (C/B)	38.6%	37.8%	34.8%	36.1%	37.2%	34.9%	35.0%	36.1%	35.9%	35.1%	35.1%	33.8%	35.8%
	ユーザー車検前年対比	4560/110%	4371/111%	4441/98%	4257/103	3958/99%	4239/101%	4270/102%	4065/97%	3559/96%	3683/103%	4300/98%	4616/94%	

新車遅延がなおも影響か

23年度の検査台数は、対前年同期比1・6％減、21年度対比でも1・5％減。なおも解消には至らない新車不足で、代替を見送り保有車両を乗り続けたユーザーが一定数いたことを踏まえると、検査対象台数の多いいわゆる「表年」、台数の少ない「裏年」という従来の観測からすでに逸脱していても何ら不思議ではない。だが、本来「裏年」に移行する昨年半ばから、台数は想定通り減少に転じており、今のところサイクルへの影響は限定的だ。

月別でみると、4月、7月、10月を除く月でいずれも前年より減。10月のみ変則的な上昇が見られたものの、総じてなだらかなマイナス基調で推移した。下げ幅の最大値は今年3月の12・5％。

持ち込み検査数は14万542台で0・6％プラス。ユーザー車検台数は登録・軽共に減少するも、全体に占めるユーザー車検の割合は、ほぼ横ばいながら続伸した。

カテゴリー別では、登録車が31万9812台と前年比で2・7％、21年度比で3・6％それぞれ減。これに対し、軽自動車は前年比0・3％、20年度比で2・2％伸ばした。

昨年度の登録自動車・軽自動車継続検査台数とユーザー車検台数（京都府自動車整備振興会データを引用）

業界の健全性を前面に

JU京都総会　理事定数も減枠

京都府中古自動車販売協会・商工組合・防犯連絡協議会（JU京都、東將之会長・理事長）は5月21日、ホテルグランヴィア京都で総会を開催した。共有在庫システム「JUテントリ」と日本中古自動車販売協会連合会の店舗資格「適正販売店」を起点とする基本方針を採択したほか、定款・会則を改定し、理事定数を「13～16人」（協会は下限の定めなし）に減枠した。加盟店数の推移に合わせた変更。

協会は昨年度、①回送運行許可申請②印鑑証明書照合内規の承認申請③古物管理者講習会の開催④封印取付受託事業―などを実施。加えて、新たに社員教育研修をシリーズ展開したほか、日本カーシェアリング協会と災害時の中古車の供与に関する協定を結び、社会性を際立たせた。

商組は①「JUテントリ」の推進など小売振興事業②京都オートオークションとの協賛オークションの開催と、JU近畿主催オークションへの協力といった共同経済事業③動画投稿サイトや通信アプリの広告を通じたJUブランドを確立するための広報活動④クレジット事業―を行った。

一方、防犯協は、販売現場での注意喚起や「青色防犯パトロール」での定期巡回、「少年を明るく育てる京都大会」への参加などで自動車関連犯罪の抑止に努めた。

3団体は今年度も同様の事業を展開する方針。

㊤ＪＵ京都総会㊦京車協総会

組合事業活性化と組合員増強を推進

京車協が通常総会開く

京都府自動車車体整備協同組合（京車協、大嶋明理事長）は5月25日に下京区のＹＩＣ学院ＹＩＣ京都で第59回通常総会を開いた。2024年度の事業計画と予算案を承認し、「組合事業の活性化と組合員増強の推進」を重点活動に位置付け、情報提供や未加入事業者加入促進に取り組む。

事業計画によれば、組合員との対話を強化するため、地区部会の活性化などに力を入れる。増加し続ける電気自動車（ＥＶ）への対応に向け、24年度の高度化車体整備技能講習は「電気自動車編」をテーマに開催することも盛り込んだ。

人材確保に向け、各事業場の支援にも注力。日本自動車車体整備協同組合連合会（日車協連、小倉龍一会長）の独自認定制度「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」などの工場資格取得を推進する。環境への対応で水性塗料導入の研究や環境保全優良自動車関連事業場などの表彰申請も行う。コンプライアンス事業にも取り組み、特殊健康診断や作業環境測定などを継続して実施する。

総会ではこのほか、理事・監事ともに引き続き無報酬とすることなどが可決された。

大嶋理事長は「組合員一丸で活動に取り組み、皆さんの企業経営に資する活動をしたい」と意欲を見せた。

オート ビジネスフェア KYOTO 2024
2024 6/14 13:00～20:00 金
6/15 10:00～17:00 土
京都パルスプラザ - 大展示場 -
京都市伏見区竹田鳥羽殿町5
デモンストレーション・セミナー実施
スキャンツールの特設コーナー設置
EV関連商品の展示
特価商品を多数ご用意
出展品目
特定整備（エーミング・スキャンツール）関連機器
車検機器、ガレージ機器、ハンドツール
カーディテイリングサービス、自整業システム
補修部品、各種ケミカル
株式会社 大黒商会
お問い合わせ:営業推進課 前田 ☎ 075-311-0141